



表紙

入学式（吉見小学校）

特集

**平成30年度予算
住宅補助制度**

平成 30 年度の予算

平成 30 年度予算をお知らせします

当初予算合計

654 億 3,700 万円

前年度対比
0.1%減

一般会計 388 億円 (前年度対比 1.6%増)
特別会計 169 億 1,150 万円 (前年度対比 3.1%減)
公営企業会計 97 億 2,550 万円 (前年度対比 1.0%減)

※公営企業会計予算は、収入と支出を比較し多い方で表示。

特 集
まちのお金の使い道



② 特別会計

特定の事業を行うために一般会計と区別して処理する会計です。

△は前年度対比減

会 計 別	主な使い道	予算額	増減率 (%)
国民健康保険特別会計事業勘定	国民健康保険加入者を対象とした医療給付	71 億 7,700 万円	△ 18.7
国民健康保険特別会計直診勘定	青垣診療所の運営	2 億 2,020 万円	△ 1.2
介護保険特別会計保険事業勘定	65 歳以上で要介護認定を受けた対象者への介護給付	69 億 3,500 万円	4.6
介護保険特別会計サービス事業勘定	地域包括支援センターの運営	2,230 万円	7.2
後期高齢者医療特別会計	75 歳以上の方を対象とした医療給付	9 億 600 万円	3.4
訪問看護ステーション特別会計	在宅介護支援サービスの提供	1,880 万円	0.5
地方卸売市場特別会計	卸売市場の管理	260 万円	△ 10.3
駐 車 場 特 別 会 計	月極・一時駐車場施設の管理	1,130 万円	△ 6.6
看 護 専 門 学 校 特 別 会 計	丹波市立看護専門学校の運営	14 億 1,400 万円	120.2
農業共済特別会計 (収益的収支)	農業共済金、無事戻金の支払いなど	2 億 430 万円	1.0
総 合 計		169 億 1,150 万円	△ 3.1

③ 企業会計

地方公営企業法の適用を受ける公営企業の会計です。

会 計 名	主な使い道	予算額	増減率 (%)
水道事業会計	施設・設備などの維持管理・水道施設整備など	34 億 9,600 万円	1.7
下水道事業会計		62 億 600 万円	△ 2.0
企業会計合計		97 億 200 万円	△ 0.7

注 1) 水道事業会計・下水道事業会計の予算額は、収益的支出と資本的支出を合計した予算額で表示しています。

「輝く未来都市への挑戦」
洞察力・直観力・実現力を大切に

当初予算は、一般会計が 388 億円で、前年度対比 1.6% 増加。特別会計と公営企業会計を含めた総額は、654 億 3,700 万円で、前年度対比 0.1% 減少しました。
これらの予算をもとに、将来を見据えた新しいまちのあり方を検討し、今よりもっと住みたくなるまちにするため「洞察力・直観力・実現力」を効かせて各施策に取り組みます。

歳入全体に占める自主財源の割合が高いほど、自主性・安定性があるとされています。

自主財源
市独自の収入
124 億 5,169 万円
依存財源
国や県からの補助など
263 億 4,831 万円

今後の課題！

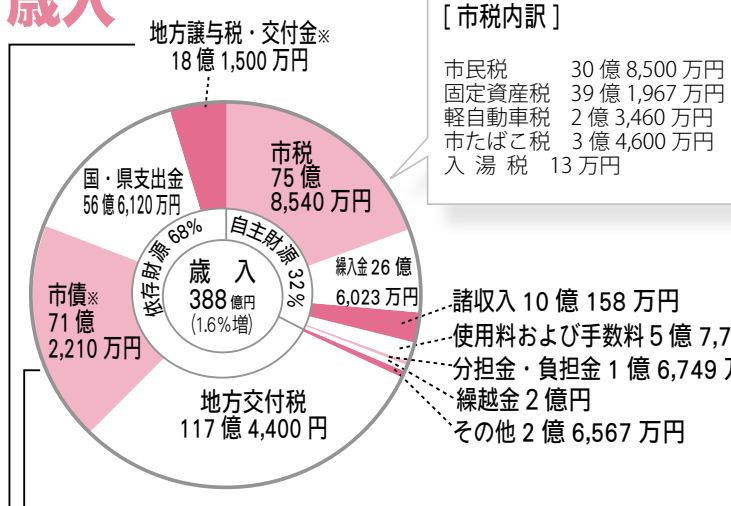
「自主財源」の比率は 32% で、中長期的にみても市税を中心とした自主財源を増やし、財政基盤を強化することが必要です。



① 一般会計 388 億円

前年度対比 1.6% 増
福祉や教育、道路整備などにかかる基本的な会計です。

歳入



※〔地方譲与税・交付金〕

・地方譲与税…地方揮発油譲与税、自動車重量譲与税
・交付金…地方消費税交付金、自動車取得税交付金、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、ゴルフ場利用税交付金、地方特例交付金、交通安全対策特別交付金

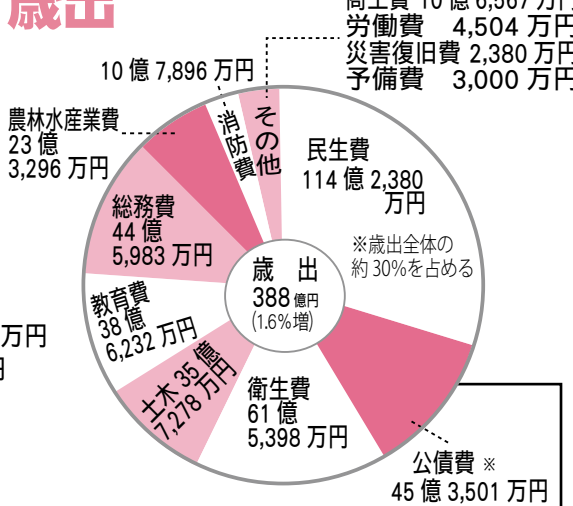
※〔市債〕

道路整備や学校建設など、一度に多くのお金がかかる事業は、その年の収入だけではまかないきれないので、国や銀行などからお金を借りて実施します。このお金を市債といいいます。今年度の主な事業として、健康センターミルネ整備事業、看護専門学校整備事業などがあります。

※〔公債費〕

市債（借金）の元金と利子の返済に要するお金。平成 17 年度から平成 29 年度までに約 190 億円の繰上償還（返済）を行うことにより、市債残高が平成 17 年度末と比べて約 88 億円減少する見込みです。今年度は、繰上償還を計上していないため、前年度対比で 5 億 9,530 万円減額します。

歳出



〔一般会計歳出〕

歳出は、前年度対比で 1.6% 増加しています。

※総務費 防災行政無線整備事業、戸籍住民基本台帳事業などの増額により、前年度対比 2.1% の増加。

※民生費 幼児教育・保育推進事業などの増加と、臨時福祉給付金事業や幼保一元化事業などの廃止・減額で、前年度対比 0.1% の減少。

※衛生費 健康センターミルネ整備事業や看護専門学校特別会計施設整備費繰出金、丹波市クリーンセンター管理運営事業などの増額で、前年度対比 31.9% の増加。

※労働費 労働総務費などの減額で、前年度対比 13.2% の減少。

※農林水産業費 下水道事業会計繰出金、地籍調査事業などの減額で、前年度対比 12.4% の減少。

※商工費 商工振興事業企業誘致推進事業などの減額で、前年度対比 5.5% の減少。

※土木費 河川改良事業国庫交付金等道路整備事業などの減額で、前年度対比 11.0% の減少。

※消防費 消防活動車両整備事業、救急救助活動車両整備事業などの減額で、前年度対比 11.1% の減少。

※教育費 小学校施設整備事業、小学校管理事業、中学校管理事業などの増額で、前年度対比 23.8% の増加。

※災害復旧費 平成 26 年度豪雨災害からの復旧工事の終了に伴う減額で、前年度対比 85.3% の減少。

※公債費 過去の繰上償還による縮減効果と、繰り上げ償還を計上していないため、前年度対比 11.6% の減少。

※国庫支出金および県支出金 市が一定水準の事務を行うことができるよう、自治体間の税収の差を調整するため国から交付されるお金。使い道は、市の自主性に任されている。

※繰入金 特別会計など一般会計以外の会計から繰り入れるお金や、積み立てた貯金（基金）を取り崩したお金など。

〔用語解説〕

※地方交付税

市が一定水準の事務を行うことができるよう、自治体間の税収の差を調整するため国から交付されるお金。使い道は、市の自主性に任されている。

※国庫支出金および県支出金

国や県から交付されるお金。特定の事業などに対して交付されるため、使い道が限定されている。

※繰入金

特別会計など一般会計以外の会計から繰り入れるお金や、積み立てた貯金（基金）を取り崩したお金など。

平成30年度予算

「輝く未来都市への挑戦」
8つの重点施策から主な事業をピックアップ

①ターゲット年に向けたシティプロモーションのさらなる展開

新規 シティプロモーションの新展開 シティプロモーション支援事業補助金

自治協、農業・文化・福祉団体や市民活動団体などが主体となっていく、市のイメージアップ・知名度の向上、市外からの誘客・交流を促進する事業に要する費用を補助します。

【予算額】1,100万円

シティプロモーション推進室

☎ 88 - 5600



①ターゲット年に向けたシティプロモーションのさらなる展開

新規 シティプロモーションの新展開 メディアプロモーション委託業務

丹波市創生シティプロモーションのイベントのメディアリリースや取材誘致活動・ウェブサイト構築・フリーペーパー制作・イベント企画運営などに専門業者のノウハウを活用。情報発信力や訴求力、メディア認知度を強化します。

【予算額】1,500万円

シティプロモーション推進室☎ 88 - 5600

②未来を見据えた都市基盤の整備推進

新規 新しい都市構造づくりへの始動 新しい都市構造の検討

人口減少・高齢化、統合新病院の建設など将来のまちの変化を見据え、持続可能な新しいまちづくりに向けて「まちづくりビジョン」を策定します。めざすべき都市構造（都市像）と実現するための取り組みを明らかにします。

【予算額】1,854万8千円

都市創造課☎ 88 - 5360



③医療・保健・介護・福祉の連携

継続 地域医療の中核拠点の整備 健康センターミルネ整備事業

健康センターミルネの建設工事や新病院などへの東側進入路の整備工事などを継続。平成31年度上期の開設をめざします。

【予算額】

16億7,122万2千円

地域医療課☎ 82 - 4611



③医療・保健・介護・福祉の連携

継続 地域医療の中核拠点の整備 看護専門学校施設整備事業

看護専門学校校舎や石生駅前に整備する寄宿舎の整備を継続。平成31年度上期の移転開校をめざします。

【予算額】

12億4,064万5千円

地域医療課☎ 82 - 4611



③医療・保健・介護・福祉の連携

新規 地域包括ケアシステムの構築 医療介護情報連携システム構築事業

予防接種ネットワークを基盤に、処方・調剤情報を主とする「医療介護情報連携システム（仮称）」を構築。医療、介護従事者の情報共有を図ります。事業推進団体となるNPO法人を立ち上げ、医療・介護従事者の情報共有や市民へ周知を進めます。

【予算額】6,900万円

健康課☎ 82 - 4567



④安全・安心なまちづくり

新規 豪雨災害の経験と教訓の継承 復興スタディツアー

平成26年8月丹波市豪雨災害の経験と教訓、復旧・復興の取り組みを元にして、大学生などを対象とした防災・減災について学ぶスタディツアーを実施します。

【予算額】135万円

復興推進室☎ 85 - 4622



④安全・安心なまちづくり

継続 誰もが安心して暮らせる社会の構築 乳幼児等・こどもの医療費助成

少子化対策・子育て支援の充実のため、医療費の無料化を継続します。特例期限が平成25年7月～平成30年6月末まででしたが、平成33年6月末まで延長します。

■対象者 / 0歳から中学3年生 7,441人

■助成額 / 外来・入院の自己負担額全額無料

【予算額】2億5,987万9千円

国保・医療課☎ 82 - 6690



⑤未来を拓く産業の振興

拡充 農林業の振興 農の学校開校準備

栽培技術、農業経営および農村文化を学び実践できる施設「農の学校」。平成31年4月開校をめざして施設整備などを進めます。修了者が農業の担い手となり、丹波市に定住する仕組みを構築します。

【予算】4,339万3千円

農業振興課☎ 74 - 1465



⑤未来を拓く産業の振興

継続 丹波竜の活用 丹波竜活用事業

丹波竜化石工房夏期特別展と冬季特別展、丹波竜フェスタなどのイベントや丹波竜化石工房の展示物の充実、につぼん恐竜協議会の拡充、関係市間と連携を強化します。

【予算】2,266万7千円

恐竜・観光振興課☎ 77 - 1887



⑥交流によって創る地域づくりの推進

新規 市民主役の地域づくり活動への支援 市民プラザの整備

丹波市市民活動支援センター（仮称）と丹波市男女共同参画センター（仮称）を併設した、丹波市市民プラザ（仮称）の整備に向け、人材育成事業と拠点施設の設計を行います。

【予算額】600万円

市民活動課☎ 82 - 0409



拡充 市民主役の地域づくり活動への支援 男女共同参画推進体制の整備

男女共同参画社会の実現に向けた条例を制定するとともに「たんばの女性Waku×Dokuフォーラム」を開催。丹波市男女共同参画センター（仮称）設置に向けた機運を醸成します。

【予算額】131万6千円

人権啓発センター

☎ 82 - 0242



⑥交流によって創る地域づくりの推進

新規 女性・若者の活躍支援 高校生提案事業

平成29年度に実施したタウンミーティングで提案された、高校生の意見を参考に、イルミネーションイベントを事業化。「暮らし続けたいまちづくり」への高校生の参画を促します。

【予算】363万3千円

総合政策課☎ 82 - 0916



⑦明日の丹波市を支える人づくり

新規 学力向上と教育環境の充実 小・中学校空調設備整備事業

中学校7校92教室、小学校18校179教室に空調設備を整備します。教育環境の充実を図り、平成32年度からの新学習指導要領に対応した授業改革を推進します。

【予算額】3億8,200万円

学事課☎ 70 - 0880



⑧地域と共に育む教育の推進

そのほかの主な新規事業 ※カッコ内は予算額

丹波市ふるさと住民登録制度(127万1千円)、女性農業者の組織化(26万9千円)、「公共建築物等における木材利用推進プラン」策定に向けた取り組み(10万4千円)、丹波市中小企業者等経営支援システム構築事業(500万円)、丹波市中小企業者等ホームページ作成事業(450万円)、恐竜を題材とした交流学習「竜学」(61万5千円)、保育人材確保事業(1億2,649万8千円)福祉人材確保家賃補助事業(360万円)、世界で活躍できる人材育成事業(168万円)

住宅補助制度をご利用ください

新築・改修・建替・耐震診断



「2世帯同居をしたい」「U・Iターンしたい」「U・Iターン者に住宅を貸したい」人に U・Iターン住宅取得住まいる奨励金交付事業

市内で2世帯同居する人、U・Iターンする人、U・Iターン者に空き家を貸す人が、住宅を新築・改修、新規購入する場合に補助します。

◇共通項目

■対象 / 平成29年4月1日以降に新築・改修工事の契約をされた人、住宅の新規購入契約をされた人。

■申請期限 / 平成32年3月31日(火)

◇U・Iターンする人

■対象者 / これから丹波市に転入される人、または転入して1年以内の人

■補助金 / ①新築・新規購入…費用の5%、上限10万円 ②改修…費用の10%、上限10万円

◇U・Iターン者に空き家を貸す人

■対象者 / U・Iターン者に空き家を貸す住宅所有者

■補助金 / 改修費用の10%、上限10万円

◇2世帯同居の人

■対象者 / これから2世帯同居される人、または2世帯同居を開始して1年を経過していない人

■補助金

①新築・新規購入：費用の5%、上限20万円

②改修：費用の10%、上限20万円

☎ ☎ 住まいづくり課(春日庁舎内) ☎ 88-5039

「地元産材で家を建てたい」人に 地元産材利用促進事業

住宅への木材利用を推進し、地元産材の利用拡大と林業・木材産業の活性化をめざして、地元産材で新築などをする人に補助します。

■要件 / 次の①～③のすべての要件に該当

①市内産の木材を利用して木造住宅・倉庫・車庫を新築、または増・改築②市内産の木材と確認できる書類「産地証明」や「伐採届の適合通知(写)」が提出できる③市内の事業者が建築
 ■補助金 / 丹波市産の木材の利用量に応じた額(最高50万円まで) ※平成26年豪雨災害による罹災証明のある方は75万円まで

☎ ☎ 農林整備課(春日庁舎内) ☎ 88-5029

！【注意事項】

制度の併用は原則できません。元気アップ住宅リフォーム助成事業と耐震関係事業のみ、条件によって併用できる場合があります。

「持家のリフォームをしたい」人に 平成30年度元気アップ住宅リフォーム助成事業

50万円以上の住宅のリフォームを行う場合、5万円の商品券を助成します。

■要件 / 次の①～③のすべての要件に該当

①世帯主が居住している市内の住宅のリフォーム②世帯主は市税などの滞納がなく、平成29年第2次募集の助成を受けていない③市内に本社・本店をもつ事業所が施工する工事

■助成内容 / 5万円(たんば共通商品券)

※100件まで(応募多数の場合は抽選)

■応募方法 / 5月1日(火)～31日(木)までに往復はがきで申し込みください。※当日消印有効

☎ ☎ 住まいづくり課(春日庁舎内) ☎ 88-5039

「空き家を地域活性化のために活用したい」人や自治組織などに 空き家利活用地域活性化事業

地域の自治組織などが、空き家の有効活用と地域活性化のため、子育て支援・高齢者福祉、都市住民との交流施設、地域の交流拠点や飲食店、宿泊施設などとして、空き家を改修する場合、費用の一部を補助します。

◇交流施設型

■対象者

空き家などを所有・賃貸し、かつ地域活性化のために利活用する自治組織など

■補助対象費 / 空き家を地域活動拠点や交流拠点に改修する費用

■補助金 / 費用の全額。※上限300万円。

◇古民家再生型

■対象者 / 築50年以上の古民家などを所有・賃貸し、かつ地域活性化のために利活用する者および自治組織など

■補助対象費 / 古民家を地域活動拠点や交流拠点に改修する費用※兵庫県が実施する古民家再生促進支援事業の採択が可能なもの

■補助金 / 費用の1/3。※上限333万円

県の「古民家再生促進支援事業」は費用の1/3、上限333万円が交付され、市と県の補助金併せて最高666万円が交付されます。

☎ ☎ 住まいづくり課(春日庁舎内) ☎ 88-5039

「耐震診断を受けたい」「耐震改修をしたい」人に 簡易耐震診断推進事業・耐震化促進事業(計画策定・耐震改修工事)・住宅建替工事費補助金・防災ベッド等設置事業

■対象者 / 木造戸建住宅の所有者

■対象住宅 / 全事業共通。市内にあり、昭和56年5月31日以前に着工。店舗併用住宅は、住宅用途部分が延べ床面積の2分の1を超えるもの。

■要件

●簡易耐震診断推進事業要件

①市内の事業者が実施

●耐震改修計画策定

要件①および、②耐震診断の結果、安全性が低いと診断された住宅③兵庫県住宅再建共済制度に加入している、または今後加入する。

●耐震改修工事

要件①・②・③および、④県の「住宅改修業者登録制度」に登録のある業者が工事を行うもの。

●建替工事

要件②・③および、既存の住宅を除却し、耐震性のある住宅を新築するもの

●防災ベッド等設置

要件②・③および、⑤市が指定する事業者が実施

する場合で⑥防災ベッドなどの価格が10万円以上のものを設置

■補助金 / ●簡易耐震診断推進事業：全額

※非木造は一部負担有

●耐震改修計画策定：計画策定費の5/6または25万円のうち低い額

●耐震改修工事：対象工事費が300万円以上の場合、定額130万円 ※所得制限有。対象工事費が300万円以下の場合も補助対象。金額によって補助金の額が異なる。

●建替工事…対象工事費の1/4、上限100万円※所得制限有

●防災ベッド等設置…定額10万円

※所得制限有

建物の構造・種別で補助金が異なります。受付開始時期は追って告知します。

☎ ☎ 住まいづくり課(春日庁舎内) ☎ 88-5039

[illegible][illegible]

高齢者・障がい者の 外出を支援します

◇おでかけサポート事業（福祉送迎サービス事業）

- 送迎範囲 / 市内一円
- 送迎内容 / 医療機関への通院、買い物など生活に必要な外出
- 登録対象者
住民票があり、(ア) (イ) のいずれかに該当で①から④のすべてに該当する人
(ア) 介護保険要介護認定が要介護3以上
(イ) 18歳以上の方で身体障害者手帳（1級1種～4級1種）、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳のいずれかを所持している
- ①今年度「福祉タクシー券（バスカード）」の交付を受けていない
- ② 本人の市民税が非課税
- ③ 自動車運転免許証を所持していない
- ④ 施設に入所中、病院に入院中でない

☎ 障がい福祉課（春日庁舎内） ☎ 74 - 0222

◇高齢者外出支援事業

- 対象 / 市に住民票があり居住している70歳以上で、①から④のすべてに当てはまる人。
①自動車運転免許証を所持していないか自動車の運転をしない②特別養護老人ホームなどの施設に入所中、病院に入院中でない③市民税非課税世帯、または市民税課税世帯で本人が市民税非課税で、課税年金収入額と所得金額の合計額が80万円以下④おでかけサポート事業に登録していない
- 助成内容
①タクシー券かバスカード
A：要介護・要支援の認定者など
タクシー券1枚620円券を24枚分またはバスカードを年額16,360円
B：認定のない人
タクシー券1枚300円券を年間24枚分またはバスカードを7,920円

☎ 介護保険課（春日庁舎内） ☎ 74 - 0368



平成30年度予算を「脱皮への鼓動」予算と名づけました。

丹波市が大きく変わる、平成31年の前年であり、さまざまな準備に大わらわの年です。

平成31年度には、市内中心部に、県立柏原病院と柏原赤十字病院を統合した県立丹波医療センター（仮称）がオープン。市への注目度が高まり、人・モノの動きが活発になると見込まれます。このタイミングを逃さず「魅力にあふれた丹波市ならでは」の新しいまちづくりを進めたいと考えています。

また、医療センターのオープンで、市内の人口異動も予測されます。人口減少がより顕著になるエリアの「安全安心なコミュニティ」「市内中心部へのアクセスを容易にする公共交通網

市長コラム
丹波語り

平成30年度予算
脱皮への鼓動

丹波市長 谷口進一

の確保」など、較差は正が急務と考えています。将来を見据えたまちづくりを一緒に考えていきたいと思います。

一方で、30年前の「丹波の森宣言」（昭和63年9月）で高らかに謳われた、丹波地域らしい里山の暮らし、人々の営みを守り、継承することは今の時代に丹波地域に住む者の責務です。

脱皮に向けて、市民のみなさんが主体となって、丹波市の魅力をカタチにするシティプロモーション活動への補助制度を整えました。市民の方々一人ひとりが「ワクワク・ドキドキ」しながら手を携え、住みよいまちづくりに邁進できる、そんな一年になることを期待しています。

市内11法人与協定 要援護者の避難場所を確保

3月26日、市内11法人16施設と「災害時における避難場所等施設利用の協力に関する協定」を締結しました。

協定により、災害時に一般避難所での滞在が困難な、高齢者や障がい者などの「要援護者」の避難場所の確保ができました。谷口市長は「いつ起こるか分からない災害に対し、備えができた。大変心強い」と感謝を述べました。



協定の締結式に参加した各法人の代表ら

官民一体となって計画を推進 丹波市観光・商工業ユニティプランの答申を受けました

3月29日、丹波市地域資源活用懇話会から、観光・商工業振興施策のあるべき方向を示す「丹波市観光・商工業ユニティプラン（案）」の答申を受けました。

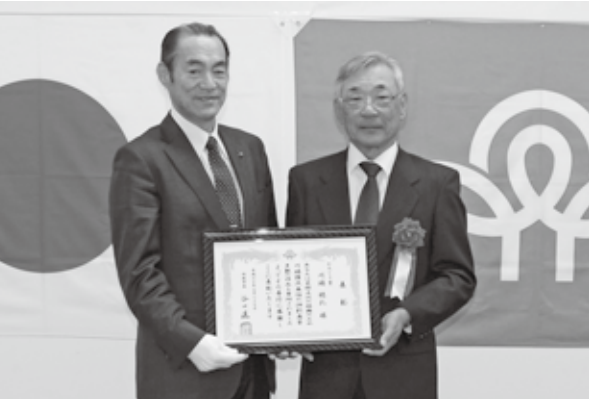
懇話会の田辺真人会長は「人口減少の負のスパイラルの解消と地方創生の実現に向け、官民一体で着実に計画を進めて欲しい」と伝えました。



答申書を手渡す、田辺真人会長（写真右）と谷口市長（写真左）

まちかど とびくす

川端皓孔さんと稲葉登志夫さんが受賞 丹波市かたくり賞



受賞した川端皓孔さん（写真右）と谷口市長（写真左）

3月27日、長年にわたり他の模範となる善行や多額の寄附により、市の発展に大きく寄与された人を対象としたかたくり賞が、川端皓孔さんと故稲葉登志夫さんの2人に贈呈されました。川端さんは、父である故川端謹次画伯の油彩作品など212点を寄附。稲葉さんは、認定こども園の建設用地を寄附されたことから受賞されました。

市島地域今中地区 復旧した農地に栗を植樹



栗の植樹を行う地域の小学生たち

平成26年8月の丹波市豪雨災害で被災した今中地区の農地のほ場整備が完了し、栗園として整備するために植樹を行いました。

今中地区の農地は災害で大きな被害を受けました。災害で発生した土砂を受け入れ、ほ場整備方式で復旧。今後は栗園として整備が進められ、復興の新たなシンボルとなることが期待されています。

お知らせ

5月12日は「民生委員・児童委員の日」です

「民生委員・児童委員」は、地域住民からの相談を受け、必要な支援が受けられる関係機関へつなぐ役割を果たしています。また、「主任児童委員」は、子育て支援や児童の健全育成など、児童に関する相談を専門としています。各委員には守秘義務があり、相談者の秘密は固く守られます。心配ごとは地域の民生委員・児童委員、主任児童委員にご相談ください。

閩社会福祉課（春日庁舎内）
☎88・5027

日赤募集活動で協力ありがとうございました

平成29年度の日本赤十字社活動資金募集活動にご協力ありがとうございました。市民の皆さんのご協力により、773万5,742円を日本赤十字社兵庫県支部

に送金しました。災害救護や日赤事業の重要な活動資金として役立てられます。

閩社会福祉課（春日庁舎内）
☎74・1130

巡回職業相談

丹ワークサポートたんばは、巡回職業相談を実施し、職業に対する相談・紹介をしています。

■相談日時・場所
相談時間…午後1時～4時
5月1日（火）・15日（火）…水上住民センター
10日（木）・24日（木）…青垣住民センター
閩丹ワークサポートたんば（春日庁舎内）
☎74・3660

募集

身体障害者移動相談

■とき／6月1日（金）午前9時30分～正午
■ところ／水上住民センター
■内容／補装具（義肢・装具・車いす）費支給に関する判定および適合判定、補

装具装用指導。補装具などに関する相談。

■対象／肢体不自由により、身体障害者手帳の交付を受けている人および難病患者など

■申込期限／5月18日（金）
閩閩障がい福祉課（春日庁舎内）
☎74・0222

まなびの里づくり協議会委員募集

市民の生涯学習活動を地域づくりに生かす「知識循環型生涯学習」の推進について協議する委員を募集します。

■対象／20歳以上で市内在住・在勤・在学の人
■定員／3人以内
■任期／2年
■応募方法／各支所・各住民センターに備え付けの応募用紙と作文を提出してください。

■作文／テーマ…生涯学習活動とまちづくり 800字以内
■申込期限／5月25日（金）
閩閩市民活動課（水上住民センター内）
☎82・0409

歯つぴー健診の実施

高齢者の口腔機能、衛生状態を確認する高齢者歯科口腔健診を実施します。

■とき／4月2日（月）～平成31年2月28日（木）
■ところ／市内の各歯科医療機関

■対象／後期高齢者医療被保険者で平成31年3月末時点で66歳・71歳・76歳・81歳の人

■申込方法／対象者には、4月上旬に無料受診券を郵送します。歯科医療機関を予約して、受診してください。対象年齢以外の77歳以上の人は、6月以降、申請により無料受診券を交付します。ただし、前年度に当健診を受診した人は申請できません。

閩閩国保・医療課（水上保健センター内）
☎82・6690

いじめ問題対策連絡協議会委員募集

いじめの防止・解消に広く市民の皆さんの意見を反映

させるため、委員を募集します。

■対象／①20歳以上で市内在住・在勤の人②いじめ問題に関心をもち、積極的に意見を述べるができる人③年2回程度の昼間の会議に出席できる人④丹波市議会の議員および丹波市の職員でない人

■定員／2人以内
■任期／平成32年3月31日
■応募方法／応募用紙と作文を提出してください。

■作文／テーマ…あなたが考えるいじめ防止対策とは1,000字以内。

■応募期限／5月23日（水）
閩閩学校教育課（山南庁舎内）
☎70・0811

食育アドバイザーをめざしませんか

食を通じた健康づくりを学ぶ講座の受講生を募集します。

■とき／6月19日（火）～12月18日（火）の月2回程度
■ところ／県柏原総合庁舎
■対象・定員／丹波市・篠山市在住の人、20人程度
■費用／テキストおよび材料費

■申込期限／6月5日（火）
食育アドバイザーとは、（一財）日本食生活協会の食生活改善推進員です。

閩閩丹波健康福祉事務所健康管理課
☎73・3765

丹波市少年少女水泳記録会の参加者募集

小・中学生を対象に水泳記録会を開催します。

■とき／5月20日（日）午前9時40分
■ところ／青垣温水プール
■対象／市内の小・中学生
■申込方法／各支所・各住民センター窓口に備え付け

の参加申込書に記入して、提出してください。

■申込期限／5月11日（金）
閩閩山南支所（山南庁舎内）
☎77・0240

緑化資材の提供事業 助成団体一次募集（県）

12,000円相当

■対象／花壇づくりなどを行う自治会・老人会・NPOなどの緑化活動グループ
■申込期限／先着順。申請額が予算に達するまで。

閩閩公営住宅・開発指導課（春日庁舎内）
☎74・2364

緑化資材の提供事業 助成団体募集（市）

■助成内容／花苗や肥料のほか、緑化活動に必要な資材の現物支給。

※上限は1団体につき年間

平成30年度丹波の森大学受講生募集

個性豊かで誰もが幸せに暮らせる地域づくり・環境づくり・もりづくりの講座を展開します。

■期間／6月8日（金）～12月14日（金）全10回
■ところ／丹波の森公苑または篠山市民センター
■内容／テーマ…森のくらしの多層性

■定員／70人※先着順
■受講料／10,000円
■申込方法／ハガキまたはFAXで申込書を提出してください。

■申込期限／6月3日（日）
閩閩（公財）兵庫丹波の森協会講座「丹波の森大学」事務局
☎73・0933
☎72・5164

株式会社 **コスモ**
この街の元気生活を応援します
cosmo-cosmolife.com

■コスモライフ北兵庫
介護保険事業所番号 2871301103
〒669-3301
丹波市柏原町南多田 472-1
☎0120-36-2948
FreeDial

ミツワ **梅垣 薬局**
処方せん受付
みなと銀行横 丹波市柏原町 柏原6-2
☎予約電話 0120-546-815
月火水金：9～19時、木土9～17時、日・祝休み。

漢方
更年期・生理痛・自律神経
冷え性・ぜんそく etc.
おまかせ
ください！

広告

健康生活
healthy life

丹波市集団健診が始まります

5月8日～6月14日の期間、市内6カ所で丹波市集団健診を実施します。内容は、丹波市国保特定健診・各種がん検診・骨粗しょう症検診・肝炎ウイルス検査などです。

申し込みをされた人には、健診日の約3週間前に受診票が届きます。完全予約制ですので、健診日時を確認してお越しください。健診の際は、必ず受診票と健康保険証を持参ください。指定された健診日時に都合がつかない場合は、どなたでも受付を変更できる時間を設けていますので、ご利用ください。事前連絡は不要です。

医療機関で丹波市国保特定健診、がんセット検診および婦人科（乳がん・子宮頸がん）検診をお申し込みの人は、5月中旬に受診票などの案内書類が届きます。指定の医療機関を予約し、受診してください。

健診申込みをされていない人で健診を希望する人は、健康課まで相談ください。年に一度は健診を受けて自分の身体の状態をチェックしましょう！

健康課（氷上保健センター内） ☎ 82 - 4567

血圧を測っていますか

5月17日は「高血圧の日」、毎月17日は「減塩の日」と日本高血圧学会と日本高血圧協会が定めています。健診などで測定した場合は、血圧が140/90 mmHg以上、家庭で測定した場合は、135/85mmHg以上が高血圧と診断されます。

高血圧は、脳卒中や心臓病など、生命に関わる病気を引き起こす主要な原因です。しかし、自覚症状がほとんどないため、日頃から注意が必要です。血圧計をお持ちの人は、同じ条件で定期的に測定しましょう。

【家庭での血圧の測り方】

●朝と夜に測定します。

朝：起床後1時間以内・朝食前・服薬前
夜：食後1時間以降・入浴前または入浴後1時間以降・就寝前

●トイレを済ませ、1～2分安静にして測定します。

●原則2回測定し、その平均を取ります。

●血圧が高い場合は、週に5日以上測定した結果を主治医に見せて、相談してください。

図書館
library

中央図書館 ☎ 82 - 7100

ベストリーダー情報（3月1日～3月31日）

一般書

順位	本の名前	作者
1	九十歳。何がめでたい	佐藤愛子
2	この世の春	宮部みゆき
3	おらおらでひとりいぐも	若竹千佐子
4	刑事の怒り	薬丸 岳
5	玄鳥さりて	葉室 麟

児童書

順位	本の名前	作者
1	きえた!?かいけつゾロリ	原ゆたか/さく・え
2	くろくんとちいさいしろくん	なかや みわ/さく・え
3	いえのおばけずかん	斉藤 洋/作
4	はるがきた	ジーン・ジオン/文
5	チャレンジミッケ!	6 ウォルター・ウィック/作



おすすめ図書

一般書

微妙におかしな日本語

～ことばの結びつきの正解・不正解～

神永 暁/著

草思社 [2018.2]

「暗雲」が垂れ込める?立ち込める? 「暇」にあかす?まかす? 「日本国語大辞典」の元編集長で、辞書一筋37年のことばの達人が、ことばの結びつきの基本と意外な落とし穴を、使用例をもとに解説する。



児童書

パディントンのどろぼう退治

マイケル・ボンド/作 ペギー・フォートナム/絵

R.W.アリー/絵 三辺 律子/訳

WAVE出版 [2018.1]

どろぼうが現れました。雨どいをのぼってくるどろぼうを捕まえるために、パディントンは雨どいに「ぜったい乾かないペンキ」を塗りましたが…。愛らしくくまの楽しい物語を収録。



“たんば” 食育クッキング

～伝え・育み・丹波の恵みで健康を～

材料（2人分）

春キャベツ	60 g
新ごぼう	40 g
りんご	1/4 個
A＊ヨーグルト	大さじ2
マヨネーズ	大さじ1
こしょう	少々

つくり方

- ①春キャベツをせん切りにする。
- ②ごぼうは細切りにしてゆでて、水けを切り、りんごは薄いいちょう切りにする。
- ③Aを混ぜ合わせ、①のキャベツを入れて、和える。
- ④キャベツがしんなりしてきたら、ごぼうとりんごを加え混ぜ合わせる。

春キャベツと新ごぼうのサラダ

1人分：エネルギー 80kcal・塩分 0.2g



栄養士からの一言

春キャベツは葉の巻きがゆるいので、やわらかくてみずみずしく、甘いのが特徴です。生のまま食べると甘みをいっそう感じられます。いろんな料理に使われるキャベツ。旬の時期にぜひ味わってください。



歴史探訪

「記」という小さな紙片から

シリーズふるさとを見直そう 100

神戸大学大学院人文科学研究科 術研究員 前田結城
先月、青垣町のとおるお宅であらたに古文書調査が始まりました。所蔵者の方は、くずし字で書かれた小さな「紙切れ」にいたるまで、きれいに保存されていました。

今回は、ただの「紙切れ」のような史料から、何が読みとれるか考えたいと思います。史料のタイトルは「記」です。

記
正月十一日
一、十五銭 あげ三十五 夫惣兵五
十七日
一、二銭 やき半丁 夫まき
十九日
一、三銭二厘 とふ二丁 夫いく
二月十二日
一、三銭二厘 とふ二丁 夫まき
廿五日
一、三銭二厘 とふ二丁
向喜右衛門様 上太平

この史料は豆腐類の購入代金の領収書です。正確な年代は分かりませんが、正月十一日、あげ（油揚げ）三十五枚を惣兵エが十五銭で購入。同月一七日、やき（焼豆腐か）半丁をまきが二銭で購入。十九日にいく、二月十二日にまき、同月二十五日に誰かが、とふ（豆腐か）二丁を各々三銭二厘で購入しました。合計二十六銭六厘が向（向山垣）の喜右衛門から上（上地）の太平に支払われたようです。

向山垣と上地は山垣村の中にある小さな地名です。気になるのは豆腐が「とふ」と記されていることです。当時、口頭ではこのように称されていたのでしょうか。

昔の領収書には、その時代における生活文化や地域内の生産・消費の構造を知りうる情報が記されています。領収書にある情報を大量に集積することで、昔の村人たちの生活が鮮やかによみがえってくるかも知れません。

文化財課（山南庁舎内）
☎ 70・0819



平成 27 年 4 月 28 日村上想真さん 誕生日



平成 30 年 3 月 14 日井上花澄さん (写真上) お兄さんお姉さんといっしょに！ 出生



平成 29 年 4 月 21 日三方茜音さん (写真中央) お兄さんお姉さんといっしょに！ 誕生日



平成 30 年 3 月 6 日細谷恭司さん 出生

戸籍のまど

3 月届出順 (敬称略)

お誕生おめでとうございます

赤ちゃん 保護者 住 所

足立 怜奏 勇貴 氷上町石生
瀬田 旺志朗 尚則 氷上町賀茂
西本 彩乃 朋弘 春日町東中
足立 脩弥 昌太 青垣町稲土
荒木 愛心 梨映 市島町酒梨
梅垣 咲那 智 氷上町西中
岸田 周 哲平 氷上町新郷
足立 翔成 寛尊 氷上町新郷
足立 莉汰朗 孝輔 青垣町口塩久
松本 菜那 恭明 柏原町柏原
目賀多 穂 諒 青垣町稲土
服部 晃大 武矢 氷上町下新庄
近藤 伶香 大輔 柏原町田路
中尾 琳香 亮太 柏原町下小倉
井口 新 元 山南町岩屋
塩見 叶桜 将太 青垣町東芦田
林 いちか 圭亮 山南町応地
細谷 恭司 智希 春日町黒井
村上 葵一 典良 山南町金屋
仙水 椋太郎 泰樹 青垣町小倉
中澤 蒼依 健 氷上町伊佐口
高見 なのは 美歩 山南町谷川

田村 小春 嘉仁 山南町谷川
井上 花澄 敬三 市島町上垣
久保 陽聖 有加里 氷上町石生
小南 友莉菜 智哉 氷上町成松
安田 灯香 翔 山南町玉巻
横山 史桜 竜矢 春日町黒井
足立 知悠 知彌 山南町村森
廣瀬 理音 一也 氷上町新郷
足立 楓太 旭 春日町黒井

お悔やみ申し上げます

氏 名 年齢 住 所

井口 等志 65歳 春日町平松
長久 宏一 82歳 氷上町清住
藤本 江美子 84歳 山南町谷川
廣瀬 晃純 65歳 青垣町小倉
荻野 隆二 89歳 春日町野村
岸本 五夫 78歳 山南町北和田
田村 榮一 86歳 山南町谷川
細見 真治 61歳 春日町上三井庄
足立 美穂 82歳 柏原町柏原
大槻 幸子 74歳 市島町南
細見 貞子 94歳 市島町下竹田
芦田 弘一 92歳 青垣町東芦田

吾孫子 近藤 下井 余田 進藤 西山 井上 中野 鈴木 竹知 廣瀬 藤田 和田 芦田 永井 清水 鈴木 田中 谷口 足立 足立 足立 土田 柳川 井上
みちよ 眞佐子 47歳 氷上町佐野
利男 91歳 氷上町成松
昌彦 88歳 氷上町新郷
昇 77歳 市島町喜多
はるゑ 81歳 氷上町御油
正則 84歳 青垣町沢野
誠 85歳 氷上町日比字
陽子 49歳 春日町平松
正而 85歳 春日町松森
博 93歳 柏原町大新屋
江と 96歳 青垣町遠阪
良子 82歳 氷上町成松
静男 76歳 柏原町下小倉
なつゑ 87歳 山南町谷川
マエエ 92歳 柏原町鴨野
昭三 90歳 青垣町西芦田
みつゑ 83歳 柏原町柏原
昌 85歳 氷上町賀茂
ふみの 100歳 春日町長王
誠宏 85歳 春日町棚原
嘉一 90歳 青垣町沢野
敏夫 92歳 山南町谷川
秀子 87歳 市島町上竹田

中村 豊治 81歳 山南町奥野々
山内 わか子 76歳 青垣町遠阪
植村 繁野 93歳 青垣町小倉
北山 かめの 95歳 春日町野上野
山本 保 87歳 氷上町御油
下方 武 78歳 氷上町常楽
土田 玉治 91歳 青垣町佐治
田中 政子 81歳 山南町谷川
服部 勲 88歳 山南町山崎
蘆田 善夫 94歳 青垣町西芦田
金川 しづゑ 100歳 春日町山田
柳田 豊司 78歳 柏原町柏原
岡田 昌明 70歳 春日町野上野
前田 ちさと 90歳 氷上町稲畑
松本 春美 75歳 氷上町稲畑
有牛 小しう 101歳 市島町下竹田
水野 和芳 89歳 氷上町横田
吉本 まさの 96歳 山南町岡本
多田 行雄 77歳 春日町多田
土井 みつ子 91歳 山南町梶



平成 30 年 2 月 24 日梅垣 咲那さん 出生



結婚記念日 平成 30 年 3 月 10 日 安達祐樹・涼香さんご夫婦 新婚

Happy Tamba はぴたん

丹波の“幸せさん”を紹介

「はぴたん-Happy Tamba-」では、生まれた子、新婚夫婦、誕生日を迎える子を紹介します。市の公式ラインで毎月 20 日前後に掲載者になれるクーポンを配信しています。



平成 28 年 4 月 9 日真下 漣さん 誕生日

掲・示・板

世帯数と人口

総人口 65,145 人 (△209)
男 31,207 人 (△100)
女 33,938 人 (△109)
世帯数 25,687 世帯 (11)
*平成 30 年 3 月末現在・() 内は前月比
*住民基本台帳に基づいて掲載

市内交通事故発生状況

死 者 2 人 (2)
傷 者 60 人 (13)
人身事故 44 件 (3)
物損事故 511 件 (△11)
*平成 30 年 3 月末現在・() 内は前年同月比

今月の税

4 月納期の納税はありません。
国税務課 (氷上庁舎内) ☎ 82 - 2003

次回の献血

4 月 25 日 (水) 氷上保健センター
*午前 11 時 30 分～午後 4 時
5 月 15 日 (火) 柏原自治会館
*午前 11 時 30 分～午後 4 時
5 月 29 日 (火) 春日住民センター
*午前 10 時～午後 4 時
問 健康課 (氷上保健センター内) ☎ 82 - 4567

献血カードをお持ちください

次回の休日開庁日

4 月 28 日 (土)・5 月 26 日 (土)
午前 9 時～正午 *氷上庁舎市民環境課のみ
*休日開庁日 (毎月第 4 土曜日) の取扱業務
・住民票、戸籍謄 (抄) 本
・印鑑登録、印鑑登録証明書
・住民票、戸籍に関する諸証明書
※転入・転出の届出や税務証明の発行は行っていない。
問 市民環境課 (氷上庁舎内) ☎ 82 - 2002



4



3



2



1



7



6



5



9



8

1_昭和30年頃までつくられていた御殿雛を見つめる親子
2_出来上りをイメージしてつるす雛を仕分ける作業
3_一つずつ手作業で繋がれる雛
4_飾りつけられた色とりどりのつるし雛
5_精巧にできた道具に興味津々の男の子たち
6_雛人形に見入る高校生
7_織田家ゆかりの御所人形と三ツ折人形
8_丁寧に雛人形を飾りつけ
9_雛めぐりにぎわう柏原の城下町

3月24日から31日まで、柏原地域の城下町周辺で、かいばら雛めぐりが行われました。たんば黎明館などを含めた12カ所で雛人形を展示。雛人形のほとんどは市内から寄せられたもので、江戸時代から平成のものまで様々です。

柏原藩陣屋跡では、織田家6代目藩主信古の娘、鶴姫愛用の御所人形と三ツ折人形が展示され、訪れた人々を楽しませました。

また、地域のみなさんの手作りの雛人形、つるし雛もエリア内のあちこちに飾られていました。つるし雛は雛人形が高価で買えなかった時代に、わが子の幸

せを願ってつくられたといわれています。「たくさんの方が訪れてくれますように」と、イベント成功の願いがこもったつるし雛たちが会場をにぎやかに盛り上げていました。

かいばら雛めぐり



映画「恐竜の詩」の製作を全面支援
丹波・ムービー・サポート (TMS)

キラッと光る丹波市の「人・もの・こと」のええなあを紹介します。



映画製作を成功させる
キーワードは「丹波愛」

3月24日に完成披露式典を行った、丹波市を舞台にした映画「恐竜の詩」の製作をサポートするため、活動してきた市民団体です。資金集めから協力者募集、ロケセットづくりまで、あらゆるサポートをされてきました。代表の河口さんに約1年間の活動を振り返ってもらいました。(上部写真中央)



ふってわいた映画の話

バスデイというイベントの打ち合わせ中、相談したいことがあると、突然持ち込まれたのが、映画「恐竜の詩」の話でした。

丹波市を舞台にした映画を撮ろうと近兼拓史監督が撮影を始めていくが、撮影を支援する団体がなく、困っているという内容でした。監督と丹波市出身の新人女優の武田丹音さんに出会って、サポートしようと思ったのが昨年5月2日のことでした。

情報発信からセットづくりまで

丹波・ムービー・サポート(TMS)を立ち上げてからは、すぐに速度で物事が進んでいきました。

まずは、情報発信のためにホームページやフェイスブック・ツイッターを開設。次に映画の製作資金と協力者を集めるため、100万円を募る「クラウドファンディング」を企画。近兼監督の前々作の「たこやきの詩」の上映イベントも行いました。これまでの準備期間、約10日。6月17日、映画の製作発表の場でTMSお披露目。監督や協力者たちと連日セットをつくって、7月11日には撮影スタジオの内覧

会。メンバーたちは本当によくやってくれたと思います。

真夏の大规模ロケをサポート

7月・8月は、市内のあちこちで大規模ロケが行われ、支援に飛び回りました。丹波竜化石工房「ちーたんの館」と元気村かみくげ、やまなみホールに柏原高校、愛宕祭。真夏のロケで子役さんや女優さんたちの体調を心配しましたが、無事終了しました。300人を超えるエキストラさんの協力もあり、撮影を盛り上げられて本当にうれしかったですね。

東京・大阪など全国公開へ

先月、ついに映画が完成し、完成披露式典と地元先行プレミアム上映会が行われました。イベント後、みなさんを見送ったときは、高揚感と達成感に包まれ、本当に幸せでした。

丹波市の魅力が詰まった映画がいよいよ全国で公開されます。5月12日から大阪市十三のシアターセブンで、6月には東京で上映が決定。順次全国で公開予定です。たくさんの方に観てもらえるよう、宣伝をよろしくお願いします。